

■ 館鼻則孝（たてはな のりたか）プロフィール ■

1985年、東京都生まれ。東京藝術大学美術学部工芸科染織専攻卒。

卒業制作として発表したヒールレスシューズは花魁の高下駄から着想を得た作品として、米国歌手のレディー・ガガが愛用している。現在は現代美術家として、国内外の展覧会へ参加する他、伝統工芸士との創作活動にも精力的に取り組んでいる。

主な展覧会には、「Future Beauty」（東京都現代美術館、2012）

個展「呪力の美学」（岡本太郎記念館、2016）

「Items: Is Fashion Modern?」（ニューヨーク近代美術館、2017）

「和巧絶佳」（パナソニック汐留美術館、2020）

個展「Distance」（山口県立萩美術館・浦上記念館、2023）などがある。

2016年3月には、仏カルティエ現代美術財団で文楽公演を開催するなど、幅広い活動を展開している。

作品はメトロポリタン美術館、ヴィクトリア&アルバート博物館などに収蔵されている。また昨年につき、東京都が主宰する「江戸東京きらりプロジェクト」の一環として企画され、東京の伝統産業に焦点を当てた展覧会「江戸東京リンク展」（旧岩崎邸庭園、2024）の展覧会ディレクターを務めている。

